

●令和6年（2024年）の日本の地震活動

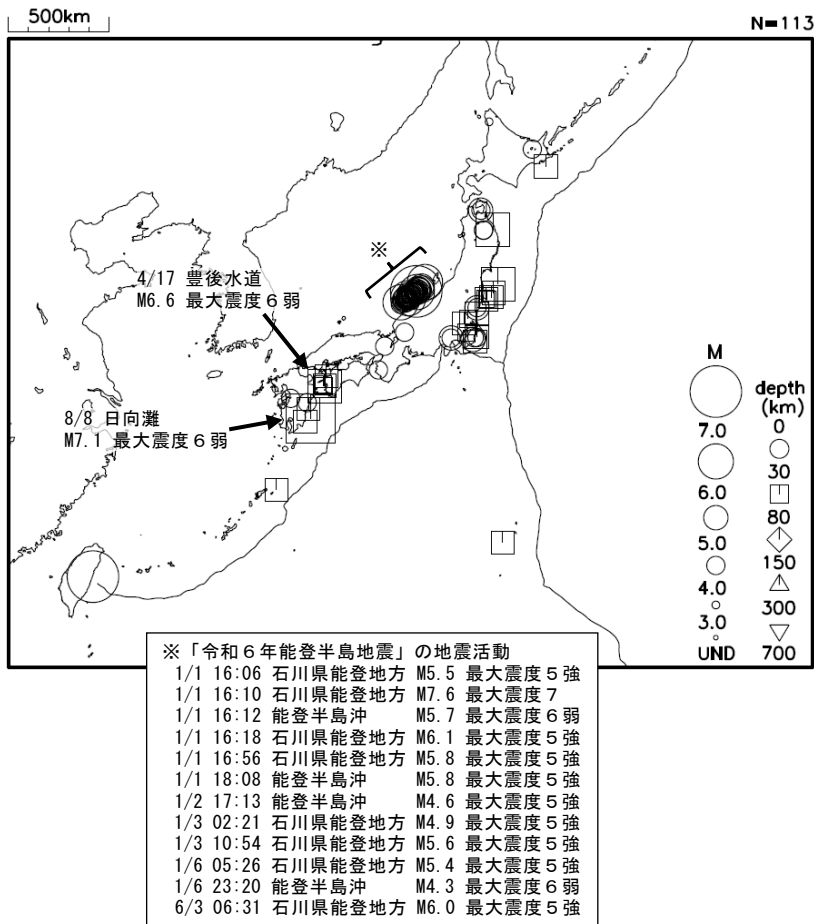


図1 2024年に最大震度4以上を
観測した地震の震央分布図
最大震度5強以上を観測した地震に矢印を付けた

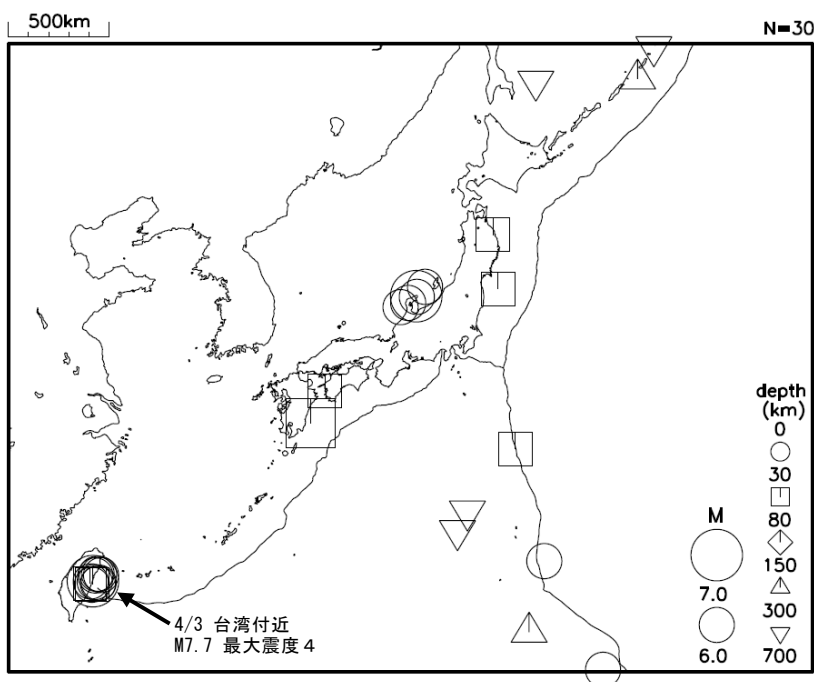


図2 2024年に発生した
M6.0以上の地震の震央分布図
2024年中で最大規模の地震に矢印を付けた

〔概況〕

2024年に国内で被害を伴った地震は9回^{（注1）}（2023年は4回^{（注2）}）発生した。このうち、死者・行方不明者を伴った地震は、1月1日16時10分に石川県能登地方で発生した地震（M7.6）^{（注3）}の1回^{（注1）}であった（2023年は1回^{（注2）}）。

震度1以上を観測した地震は3,678回^{（注4）}（2023年は2,237回）、最大震度4以上を観測した地震は113回^{（注4）}（2023年は41回）、最大震度5弱以上を観測した地震は28回（2023年は8回）であり、2024年中に観測した最大の震度は、1月1日16時10分に石川県能登地方で発生した地震（M7.6）で観測された震度7であった（図1）。

M6.0以上の地震は30回（2023年は19回）発生した。過去106年間の地震回数の中央値が16回で、2024年の地震回数は過去の地震回数の上位10%に相当することから発生回数は多かったといえる（図4）。2024年中で最大規模の地震は、4月3日に発生した台湾付近の地震（M7.7）であった（図2）。

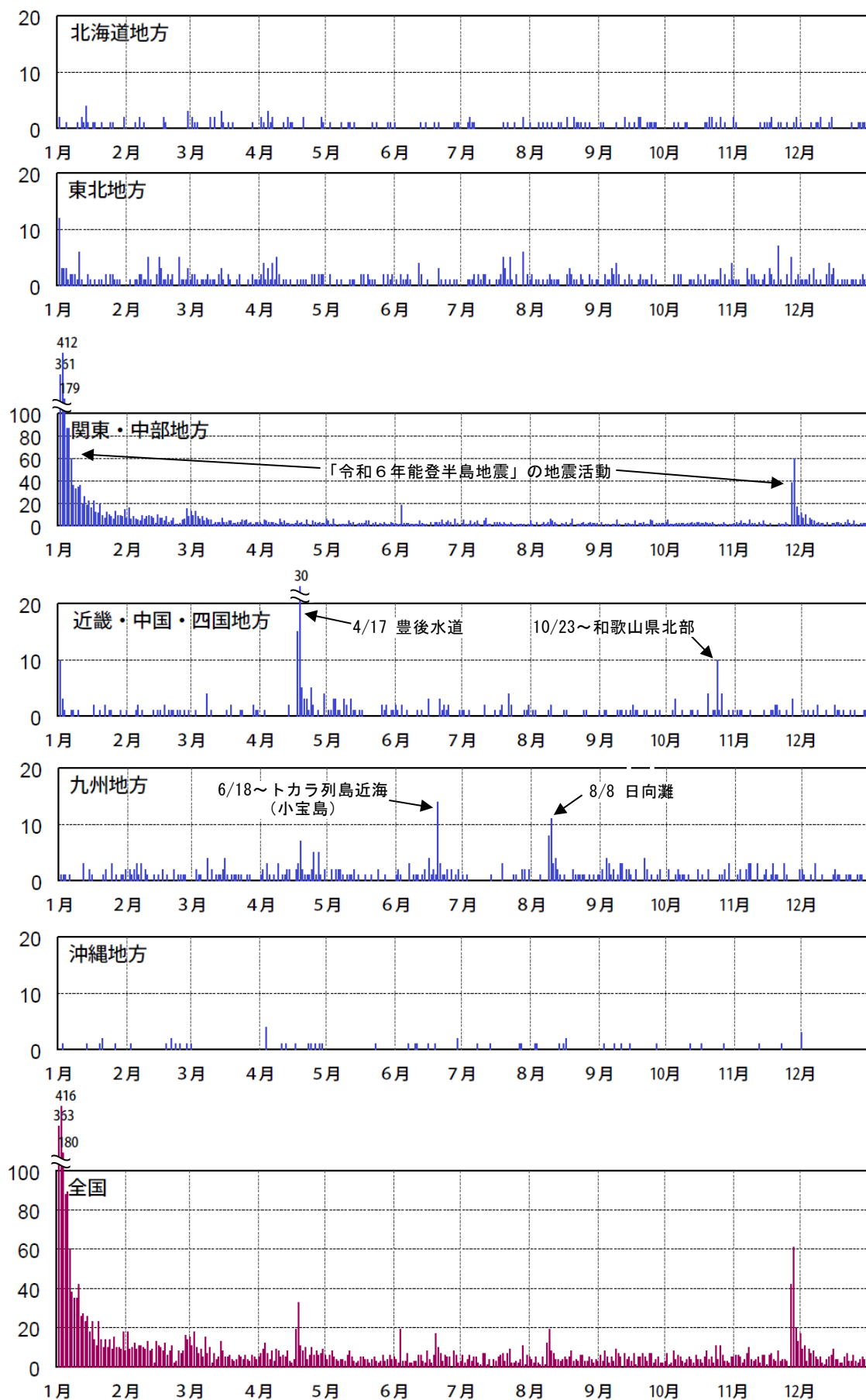
日本で津波を観測した地震（海外で発生した地震を含む）は、1月1日16時10分に石川県能登地方で発生した地震（M7.6）、4月3日に台湾付近で発生した地震（M7.7）、8月8日に日向灘で発生した地震（M7.1）、9月24日に鳥島近海で発生した地震（M5.8）の4回であった（2023年は5回）（図4）。また、大津波警報、津波警報、津波注意報の発表をした地震は、1月1日16時10分に石川県能登地方で発生した地震（M7.6、大津波警報）、4月3日に台湾付近で発生した地震（M7.7、津波警報）、8月8日に日向灘で発生した地震（M7.1、津波注意報）、9月24日に鳥島近海で発生した地震（M5.8、津波注意報）の4回であった（2023年は3回）。

（注1）2024年1月1日以降の「令和6年能登半島地震」の被害については1回として扱った。ただし、2024年11月26日に発生した石川県西方沖の地震による被害を除く。

（注2）2023年5月5日14時42分及び同日21時58分に発生した能登半島沖の地震については、生じた被害がどちらの地震によるものか区別できないため合わせて1回として扱った。

（注3）気象庁では、2024年1月1日に石川県能登地方で発生したM7.6の地震及び2020年12月以降の一連の地震活動について、その名称を「令和6年能登半島地震」と定めた。

（注4）後日の調査で変更する場合がある。



2024 年の 1 年間に
最大震度 4 以上を
観測した地震回数
（最大震度別）

最大震度	回数
4	85
5 弱	14
5 強	9
6 弱	4
6 強	0
7	1
合計	113

図3 2024年に震度1以上を観測した日別回数（全国及び各地方別）

6つの地方（北海道地方、東北地方、関東・中部地方（三重県を含む）、近畿・中国・四国地方、九州地方及び沖縄地方）に分割した。

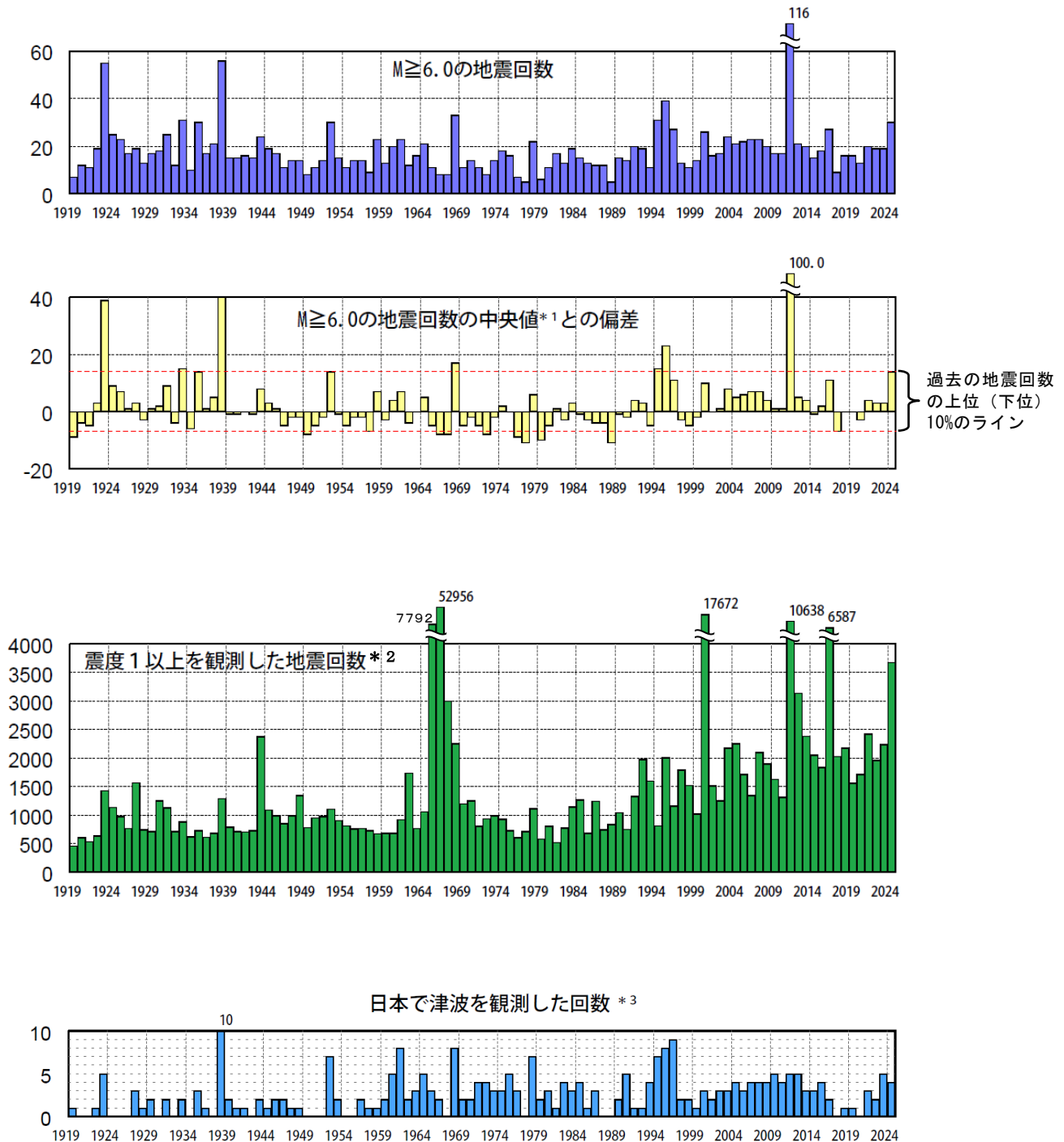


図4 全国の $M \geq 6.0$ 及び震度1以上を観測した地震の年別回数、津波を観測した年別回数（1919－2024年）

- *1 $M \geq 6.0$ の過去106年間（1919～2024年）の中央値は16回／年であった。
- *2 震度1以上を観測した地震の回数を比較するにあたっては、近年、震度観測点が増えたことを考慮する必要がある。なお、地震回数が多い1965～1967年には松代群発地震、2000年には新島・神津島の地震活動、2011年には「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」、2016年には「平成28年（2016年）熊本地震」、2024年には「令和6年能登半島地震」の $M7.6$ の地震が発生している。
- *3 海外で発生した地震及び火山噴火による潮位変化を含む。集計には、験震時報、気象庁技術報告、その他気象庁が取りまとめた資料の他、Iida(1984)、渡辺(1998)を利用している。また、過去の津波を観測した地震回数については、津波の観測点数や観測手法等が異なるため、各年代をそのまま単純比較することはできないことに留意する必要がある。
Iida, Kumizi(1984): Catalog of tsunamis in Japan and its neighboring countries, Aichi Institute of Technology, 52 p.
渡辺偉夫(1998): 日本被害津波総覧（第二版）, 東京大学出版会, 236p.